

農業系高等学校にはこんな学び方もあります！

* 生産から販売までを体験 *

実習で生産した農産物や製造した食品を校内外のイベント、朝市、道の駅などで一般の方々に販売しています。

消費者が求める高品質で安心・安全な商品について知る機会でもあります。



* 学校農業クラブ活動 *

研究活動の発表会や専門技術を競うコンテストなどをおこない、農業学科での学びを互いに高めています。

県内のみならず、全国の農業高校生との交流ができることも魅力のひとつです。



* インターンシップ *

社会的・職業的自立に向け、5日間程度、産業の現場等で就業体験をします。

実際の産業界の知識や技能に触れることで、自分の職業適性や進路選択について考える良い機会となっています。



* 各種交流活動 *

地域の保育園、幼稚園、小・中学校、特別支援学校、環境保護団体、市役所、大学との交流活動をしています。交流を通じて「農」「食」「環境」に対する学習活動に取り組むことができます。



* ボランティア活動 *

地域の緑化、里地・里山の保護、川や山林の保全など幅広いボランティア活動に積極的に参加しています。

学校で学んだことを生かしながら地域に貢献できる貴重な時間となっています。



* 海外研修事業 *

ニュージーランド研修など、高校での学びをさらに深めるための事業です。

外国の伝統・文化、産業に触れることで、グローバルな視点を持った産業人になれるチャンスでもあります。



先輩に続け！

卒業後は国公立、私立大学や専門学校などへの進学、
県内外の企業や公務員への就職など様々な業界で活躍中！
そこで令和5年度卒の先輩たちの声を聞いてみましょう！



就職
株式会社 三澤牧場
高島 恵夢さん
(那須拓陽高卒)

私は那須拓陽高等学校の農業経営科で、畜産の基礎・基本について学び、畜産に関する知識を深めることができました。農業クラブの全国大会やホリスティン共進会など、さまざまな活動をおして経験を積むことができました。

そうした活動の中で、一般の酪農家さんと全国の農業高校の学生さんなどと交流し、情報交換をすることができました。高校卒業後は、酪農について実際に働きながら専門的に学ぶ予定で、将来は自分の牧場を持てるように頑張りたいと思います。



就職
カルビー(株)宇都宮工場
久保 柊斗さん
(真岡北陵高卒)

私は真岡北陵高校の食品科学科で農業や食品に関する基礎を学び、知識を深めることができました。特に、食品に関する授業では実際に作ったり、作ったものを販売したりすることで、食品についての製造から販売まで実践的に学ぶことができました。また、学校内外でのイベントでは、クラスメイトや仲間と協力して準備などを行い、より知識を深めることができ、とても充実した高校3年間となりました。高校卒業後はカルビー株式会社就職し、今まで学習したことを活かしていきたいと思っています。就職後も学びと仲間を大切にして頑張っていきたいです。



城西大学
薬学部医療栄養学科
早乙女 美歩さん
(栃木農業高卒)

私は中学生の頃、食について興味を持ち、管理栄養士を目指すため栃木農業高校に入学しました。私が通う食品科学科では食品製造や化学、栄養学を学ぶことができます。私は授業を通して将来に繋がる知識や技術を身につけることができたと感じました。また、食品の授業だけでなく地域の方に農業の楽しさを知ってもらうための交流をしたり、学外に出て農産物を販売したりと様々な経験ができました。こうした活動がたっさんでできることが栃木農業高校の魅力です。

大学進学後はこの経験を活かし、さらに食について積極的に学習に取り組みたいと考えています。そして、社会に貢献できるような、より一層の努力をしていきたいです。農業について興味がある方はぜひ栃木農業高校で農業について一緒に学びましょう！



宇都宮大学
農学部農業経済学科
柴田 華月さん
(鹿沼南高卒)

私は、鹿沼南高校食料生産科で、実践的な農業学習を通し、栽培・加工・流通を学びました。さらに、様々な校外活動にも取り組みました。その中で、特に刺激を受けたのは、高校生が地域の魅力を発信する鹿沼市の「かえる組」の活動です。この活動で、地域を活性化させるためには、どのように企画を立てるべきなのかを学びました。また、地域活動の楽しさを感じることができました。以上の経験から、農業と地域の関係をより深めるためにはどのような方法があるのかを知りたいと思い、農業経済学を学ぶよう考えるようになりました。将来は、農業を通して地域を考えられる人材を育成できるような農業科の教師になりたいと考えています。



就職
本橋庭緑園
添野 真さん
(小山北校高卒)

私は、小山北校高校食料環境科環境創生コースで造園を専攻しました。造園では、校内の樹木の剪定や刈込み、伐採、思川桜の栽培管理など実践的な学びを通して樹木の管理方法や栽培に関する幅広い知識と技術を身につけることができました。足尾銅山植樹活動やスバGOMI大会などの環境保全活動や各種コンテストに参加し、同じ志を持つ仲間たちと充実した日々を過ごすことができました。私が造園業の進路を決めたきっかけは、今回就職先である「本橋庭緑園」で行ったインターンシップです。造園業の魅力を経験し、進路先に決めました。今後は、造園業に必要な知識と技術を身につけた一人前の職人となれるよう日々努力を忘れず頑張りたいと思います。



就職
(株)サカロフ ステック
門田 亜織衣さん
(矢板高卒)

祖父母がナス・水稲を中心とした農業経営を行っており、幼い頃から作物生産に興味がありました。矢板高校では、理論学習と様々な部門(作物・野菜・果樹・草花・畜産)での実習を通して、幅広く農業を学ぶことができた。高校での学びを通して、あらゆる植物の始まりである種子についてもっとよく知りたいという思いが芽生えたこと、高校で身につけた農業の知識を生かしたいということから、種苗関係の仕事に就きたいと思うようになりました。サカタのタネグループは、世界170カ国に向けて販売をするグローバル企業です。今後も英語の学びを継続し、世界中に種子を届ける仕事に取り組みたいと考えています。私が関わった植物の種子が、世界のどこかで野菜や花へと成長し、誰かの笑顔に繋がるように頑張っていきたいです。